



南 港

あじさい運動（あいさつ運動）で学校がパワーアップ！

児童委員会の運営委員会が中心となって9月28日(月)～10月23日(金)に「あじさい運動」の強調期間を設定しました。※あじさい運動は、学校として年間を通して実施しています。

この運動は、「なまえをよんであいさつすると、された人はもっとうれしいね！」を合い言葉に、子どもたち自ら「あいさついっぱい学校」を目指しています。

「〇〇先生おはようございます」とあいさつすると「〇〇さんおはようございます」とあいさつを返します。子ども同士でも同じです。毎日、朝は「おはようございます」日中は「こんにちは」と、明るい元気な声が校舎に響いています。さわやかなあいさつを聞くだけで、心が清々しくなるのは子どもたちも職員も同じです。あいさつには人を元気にし、学校を楽しくする魔法の力があると思います。

「あじさい運動」強調期間では、その週にあいさつをがんばっていた学級を職員が選び、あじさいの花を咲かせます。以前からあいさつがしっかりできる子どもに加えて、ふだんあいさつが苦手な子どもも進んであいさつを交わすようになってきました。

明るくやさしくじらっこが、あいさつを通して、学校だけでなく地域も元気にしていければと思います。ご家庭でもさわやかにあいさつを交わしましょう。

あ…あいてを見て
じ…じぶんから
さ…さわやかにあいさつすると
い…いい気分！



▲あじさいがたくさん咲いてきた様子

家庭でのゲームはルールを決めて！

ゲーム依存症は医学的に「ゲーム障害」と言われます。本人や周囲の人も「ゲームに夢中」と気軽に考えているうちに進行してしまうところが怖い病気です。

特に、インターネットに接続されているオンラインゲームの場合、一緒にプレイする仲間や敵がおり、そこに対人関係や競争が生まれ、依存性を高めていきます。

そのうちに、ゲームのために睡眠や勉強の時間を削る。食事や家族と過ごす時間もゲームをしたがる。体調不良で学校を休む。ゲームのことを言われるとイライラする。など、健康、生活リズムや学校生活への影響が出始めます。

【ゲーム依存症（ゲーム障害）の症状】

- ゲームに関する行動がコントロールできない
- ゲーム優先の生活となり、それ以外に使う時間が減る
- 個人や家族、学校で問題を引き起こしていたとしてもゲームをやめられない

「ゲーム障害」の診断には医師の診察が必要です。少しでも「もしかして？」と思ったら、早めに依存症の相談窓口（保健所や精神保健福祉センターなど）に相談し、医療機関を受診するよう勧めます。小学生が最も危うい年齢です。

(依存症対策全国センターHP参照)

11月の主な行事予定

- 1日 (日) あきた教育の日
- 2日 (月) 安全の日
- 3日 (火) 文化の日
- 4日 (水) 4年手話教室
- 8日 (日) 立皇嗣宣明の儀
- 9日 (月) A L T
- 11日 (水) 3校時限（給食あり）
くじらっこ #146ラボ
市郡教育研究会教科等研究会
- 13日 (金) 5年校外学習
- 16日 (月) 昔語り・読み聞かせ、
A L T
- 18日 (水) クラブ⑧
第3回学校運営協議会
- 19日 (木) 3年校外学習、A L T
- 20日 (金) 1・4年心電図検査
- 23日 (月) 勤労感謝の日
- 25日 (水) わらび座勇魚踊りワー
クショップ
職員会議
- 30日 (月) 学校納金振替日
A L T